

平成22年度 埼玉県学校総合体育大会 (バドミントン競技)
兼 第61回全国高等学校バドミントン選手権大会
埼玉県南部支部予選会 実施要項

1. 主催 埼玉県教育委員会・埼玉県学校体育協会
2. 主管 埼玉県高等学校体育連盟南部支部バドミントン専門部
3. 後援 (財) 埼玉県体育協会
4. 期日 平成22年5月7日(金)・8日(土)・10日(月)・11日(火) 8時45分開場
【5月7日 女子個人対抗 複単1日目 準備終了後、開会式、競技開始】
【5月8日 女子個人対抗 複単2日目 決勝戦及び順位決定戦まで】
【5月10日 男子個人対抗 複単1日目 準備終了後、開会式、競技開始】
【5月11日 男子個人対抗 複単2日目 決勝戦及び順位決定戦まで】
5. 会場 さいたま市記念総合体育館 TEL 048-851-5050
6. 種目 個人対抗(男・女 各個人戦 単・複)
7. 競技規則
 - (1) 平成22年度(財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程による。
 - (2) 平成22年度(財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具並びに第1種、第2種検定合格水鳥球を使用する。(シャトルは、各校持ち寄りとする。)
8. 競技方法
 - (1) ① 単・複を行ない、いずれもトーナメント戦方式(敗者復活戦おこなう)。
 - ② 選手の変更は、いかなる場合も認めない。
9. 参加資格
 - (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒で、埼玉県高等学校体育連盟に加盟し、県大会の参加資格を得た者とする。
 - (2) 監督・コーチ・マネージャー・選手は、(財)日本バドミントン協会に会員登録を完了した者とする。
 - (3) 年齢は、平成3年4月2日以降に生まれた者でもものとする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は一回限りとする。
 - (4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
 - (6) 転入生、留学生、専門学校生については、埼玉県高体連規定による。
 - (7) 出場する選手は、予め健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する埼玉県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
 - (8) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア. 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ. 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
10. 参加制限
 - (1) 1校の出場者数の上限を複5組、単6名とする。但し、平成21年度新人大会県南部地区予選会(昨年8月)において、ベスト18以内の者は上記制限には含まず出場できる。備考欄に、その旨を必ず記入する。また、平成21年度新人大会県大会において、ベスト16以内の者は、この予選に出場する必要はない。但し、各校男女共最大

出場数は、県大会出場も含めて7複10単以内とする。(県大会出場権を得て、地区予選を免除される選手を申込用紙の欄外に記入する)

- (2) 個人対抗 単・複とも監督1名とし、複の選手は同一校選手であること。
- (3) 引率・監督
 - ア. 引率責任者は、校長の認める当該校の教員とし、選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
 - イ. 監督、コーチは、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は障害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

11. 申し込み

所定の大会参加申込書に校内ランキング順に記入し、必要事項を記入・校長および顧問印を捺印の上、平成22年4月22日(木)【必着】までに、

さいたま市立大宮西高等学校 奥田 勝洋 宛

【〒330-0856 埼玉県さいたま市大宮区三橋4-96】に申し込むこと。

【申し込みの際には、『バドミントン大会参加申し込み書 在中』と朱書する。】

(不参加の場合も、連絡をお願いします。)

※ 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

- ※ 参加者名簿のエクセルファイルを地区委員長 奥田勝洋 まで送ってください。形式は埼玉県バドミントン協会・南部支部高体連のページよりダウンロードして、ご利用ください。(http://www.saibad.com/koukou/nanbu/)

12. 組合せ

- (1) 平成22年4月30日(金) 10時00分～ 県立スポーツ研修センターで行なう。
 - ・ 顧問の方は、組み合わせ会議に御出席下さいますようお願い申し上げます。
 - ・ 県南地区委員の先生は、午前9:00分に集合方、お願い致します。

13. 試合進行

- (1) 正規のポイントで行われる対戦では、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。各ゲームの間に、120秒を超えないインターバルを認める。
- (2) 同一選手が連続して試合を行なう場合には、前試合が終了後15分間の間隔をおいてから次試合を始める。(試合のコールは10分後とする)
- (3) 練習時間はもうけない。

14. その他

- (1) 競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェア・シューズを着用すること。色付きの着衣を使用する場合およびシューズは、(財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。
- (2) ①出場選手は、上衣の背中中央に必ず高等学校名及び都道府県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。
「上段・・学校名(やや大きく)、下段・・都道府県名」
②ゼッケンを使用する場合は、白色の布地で縦15cm、横30cmの大きさを基準とする。(ゼッケン使用の場合、文字の色は黒色又は濃紺色とする。)
- (3) 指定審判制と敗者審判制で実施。(試合出場メンバーが審判をすること)
- (4) マッチ中、選手の水分補給を認めるが、必ず主審の許可を得ること。(クーラーボックスの持ち込みは禁止) 容器は倒れてもこぼれないスクイズボトル・プッシュプルトップボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れること。
- (5) 今大会での個人対抗(単・複) 上位18位入賞者は、平成22年度全国高等学校総合体育大会県予選会に出場できる。

- (6) 今大会での個人対抗（単・複）上位18位入賞者は、平成22年度新人大会南部支部予選会へ出場制限数を増加して参加できる。但し、各校男女共最大出場数は、新人大会県大会の制限以内とする。
- (7) 当該校引率責任者は、毎朝必ず受付（本部席）のこと。（男女各第1日目は開会式開始前に行なう）
- (8) 当該校引率責任者は、開会式に参列すること。
- (9) に参加する選手（団体戦・個人戦複出場者）の服装は、ユニフォーム又は競技時のものとする。